



シルバーだより 第27号

かみす

自主・自立・共働・共助

平成26年3月20日発行

公益社団法人神栖市シルバー人材センター

茨城県神栖市溝口4991番地5

電話 0299-92-7583

URL <http://www.silver-brain.com/ibaraki/kamisu/>

発行・編集／広報委員会

依頼者の笑顔

私が神栖市シルバー人材センターにお世話になり、早3年になります。お世話になって半年ほどの頃、植木剪定の講習会がありました。基礎的な技術を教えてもらい、今の仕事に役立っています。

依頼者が喜ばれる姿は何よりも嬉しく励みになります。



「あー綺麗になった。嬉しい」そんな言葉を聞くたびに仕事にやり甲斐を感じます。

今年の3月4・5日に2回目の勉強会がありました。1日目は松の剪定、2日目も松の剪定と波崎地区・神栖地区の生き生きとした意見交換、先輩の剪定指導。これからの仕事に活かして依頼者に答えて喜ばれるように頑張っていきます。

(神栖：立山 盛昭)



植木剪定勉強会を計画して

波崎地区では松涛園市営墓地を、波崎地区の剪定会員全員が集まり、毎年お盆前や彼岸前に剪定作業をしています。会員は普段2～3人の班に分かれ班別に一般家庭の剪定作業を行なっているので、全員が集まる機会は、お互いに知識や情報交換もできて有意義だという意見を以前から耳にしていました。

今回全員が同じ立場で学びあおうとの思いから「勉強会」と名付け、神栖地区の剪定会員、波崎地区の剪定会員が一堂に会し、親睦・情報交換による技術力向上・地域へのボランティアを目的に2日間実施することになりました。

会場となった矢田部公民館及びはさき福祉センターの松剪定実技を中心とし、二日目には神栖会員・波崎会員混合での班編成をして作業するなど有意義な勉強会となりました。



二日目は雨天の為午前中で終了となりましたが、別室で行なわれた情報交換会では「このような機会を今後も設けてほしい」との意見がありました。

今回の勉強会を仕事にいかし、今後も親切・丁寧で安全な作業を心がけてください。

(事務局：金井 信彦)



俺が故郷自慢

俺の故郷余市町（よいち）を紹介します。北海道の西側日本海に突き出る積丹半島その内側の付け根に位置しています。

町名の余市はアイヌ語の「イヨティーン」(曲がりくねった川がある)とのこと。農業と漁業が盛んな町。民間では日本で初めてリンゴが生った土地、果物や美味しい米(ゆめぴりか)なども生産されています。



優れた人材も輩出しており、学術分野では毛利衛さん（スペースシャトルで宇宙へ）、スポーツでは札幌オリンピックジャンプ競技で金メダルの笠谷さん、長野オリンピックジャンプの船木さん、女優では坂口良子さん（故人）です。

また、観光地としてニッカウiskey余市工場、景色の素晴らしい積丹半島などです。

次々回NHK朝ドラ「マッサン」は、ニッカウイスキーの創始者竹鶴政孝・リタ夫妻の物語、余市町でロケだ!一度遊びに行ってください~い!

(土合南：水尻 喜弘)

会 員 募 集

会員登録の条件

- 神栖市内に居住する、おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方
 - センター事業を理解し、センターの趣旨に賛同していただいた方
 - 入会説明会を受け、入会申込書等必要書類を提出した方
 - 定められた会費を納入していただける方
- 



会員登録するには

入会説明会を受講

入会申込受付

- ・必要書類(入会申込書・入会誓約書・健康状態申告書)提出
- ・写真撮影

理事会において入会審査

入会可否決定通知書・入会書類を郵送

入会受付

- ・入会書類（就業内容承諾書・シルバー保険承諾書・個人情報取扱同意書）の提出
- ・年会費（2,000円）の納入

『会員登録完了』

入会説明会

本所・支所

毎月第1木曜日 午後1時30分～

※開催日が変更になる場合もあります
 ので、事前にお問い合わせください。

就業規約とシルバー保険

- 会員が安全・適正に就業できるように、センターには会員の総意によって定められた就業規約（約束ごと）があります。
- 就業で万一けがなどをされた場合は、シルバー団体傷害保険で対応します。但し、労働関係法規（労災保険等）は適用されません。

会員のひそば

釣りとかラオケ

私は、会社を定年退職して2年後にシルバーに登録し、会員になりました。

現在は、波崎地区の防犯パトロールを行っています。防犯パトロールのメンバーには色々な趣味を持っている方が居て、菊作り、家庭菜園、盆栽、釣りなどです。その中でも本格的に釣りをやっているパトロールメンバーの人に魅かれ、昔から好きだった釣りを始めました。元々凝り性の私は、釣りにどっぷりとはまり、今では気立ての優しいメンバーの居るフィッシングクラブ気楽会にも入会し、1年を通じて蟹、平目、カンパチ、イナダ釣りに没頭しています。

その他には、防犯パトロールの歌好きが集まって3ヶ月に一度カラオケで楽しい時間を過ごしています。この先体力の続く限り、釣りとカラオケは続けたいと思います。皆さんも何か楽しい趣味を見つけて楽しんでみてはいかがでしょうか！

(若松中央：小林 由一)



我がふる里

思えば私も銚田から神栖に移住して早20数年。

車で1時間位の所なのに風呂といえば、湯楽々(ゆらら)、ゆうぽーとなど年に1～2回行く近隣？わすれかけた銚田のお風呂「ほっとパーク銚田」すてきな外観。

中には炭酸泉、黒湯、塩湯などなど、プールもあり、食事もおいしく、1日ゆったりとくつろげるスペースとなっています。



駐車場の一面には、ポリタンク2個まで温泉源泉の無料持ち帰り出来るなど、皆様も一度は行ってみる価値が有ると思います。

(息栖：柴沼 あや子)



ふるさと歴史探索

甲頭稲荷神社 御祭神名 宇迦御魂神

御祭神の御徳について

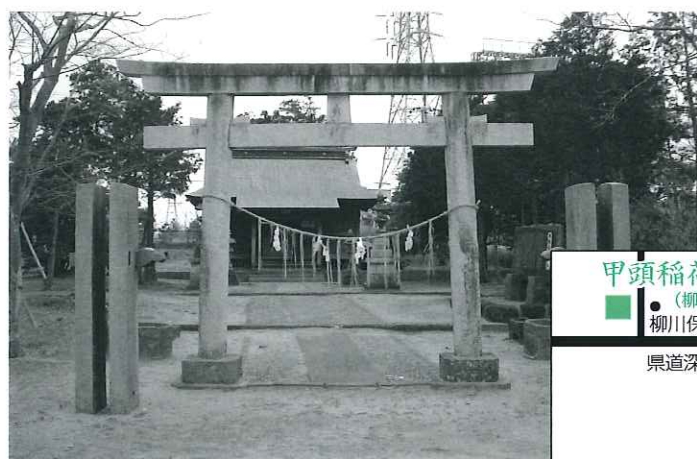
衣食住農工商を厚く守護くださる神様と称え後に福德開運十種の信仰を生み（無量の福、衆人敬愛の福、大繁栄の福、長寿の福、田畑の福、養蚕の福、善知識の福、千客万来の福、武運長久の福、金銀財宝の福）等を授ける神様を私達の祖先が古くからかみさまの（おかげ）に感謝し仰いでまいりました。

歴史につきましては

江戸時代に江戸本所松食町、甲頭美濃守の邸内社であったが後に常陸国、白鳥郷武井に還座、さらに安政三年十一月十五日（1856年）柳川新田を開くに当たり鎮守の神様として、初代柳川宗左衛門氏が甲頭稲荷神社の御分霊を迎え鎮め奉り、敬神の盛んに成ること、五穀の豊穰開墾の成功を祈り建立しました。その後、明治三年二月に二代目柳川宗左衛門氏新田開村の祈りが神慮にかなない御神殿を改築、その後平成二年に新しい拝殿になりました。

なお甲頭稲荷神社の額は、初代茨城県知事山岡鉄舟筆です。

（若松中央：千葉 猛）



編集後記

平成25年度の広報活動にご協力いただきありがとうございました。

平成26年度も今年度同様よろしくお願いします。広報委員会では、会員の皆様の趣味や体験談、写真などの原稿や情報をお待ちしております。お近くの広報委員や理事、事務局まで宜しく願います。



広報委員 一同

お知らせ

●年会費はお早めに

年会費は、4月1日より本所・支所の窓口で受け付けます。お早めに納入をお願いいたします。

※3月31日以前は受付ができませんのでご注意ください。

●未就業会員の皆さまへ

センターでは、剪定・草刈・除草・障子張りなど会員を募集しています。また事務局には「就業情報」も掲示してありますので、事務局まで気軽にお声をかけてください。

「就業情報」はホームページでも公開中です。

<http://www.silver-brain.com/ibaraki/kamisu/>